

Big Event in TOKYO-SPRING 2013-



医師・医療者を志すひとたちへ

～3.11 東日本大震災から2年、私たちがいま為すべき幾つかのこと～

- 記念講演 今田 隆一 医師
～宮城県災害拠点病院・坂総合病院 院長～
- スペシャルメッセージ
～医学生による震災ボランティア報告
- 東日本大震災医学生ボランティア説明会

2013年3月31日(日)13時30分～
東京グランドホテル 3F-蘭の間-
主催 東京民主医療機関連合会

Big Event in TOKYO-SPRING 2013-

～医学科新入生、医学生、医学科志望生におくる記念講演会～

日時

2013年3月31日(日)13時30分～
※受付開始は13時より

参加費
無料

会場

東京グランドホテル 3F-蘭の間-

最寄り駅：JR 山手線・京浜東北線 浜松町駅（徒歩10分）
都営地下鉄三田線 芝公園（徒歩3分）

申し込み

03-5978-2741 ※今田(こんだ)医師講演会担当までお願いします
hongou@tokyominiren.gr.jp

※メールタイトルに「今田(こんだ)医師講演会参加申し込み」とお願いします
※メール本文には、氏名・大学(学校)・学年・学科、電話番号をお願いします
※進学先が決まっている場合は進学される大学(学校)名をお願いします

主催：東京民主医療機関連合会

2011年3月11日東日本大震災と坂総合病院(宮城県・災害拠点病院)について

坂総合病院は、地域医療支援病院であり、災害拠点病院にも認定されている病院です。そのため、日ごろから大規模災害を想定した訓練を行っていました。3.11 震災当時も震災発生直後からマニュアルに沿って直に対策本部を立ち上げ、その指示でトリアージ診療を開始、被災者への医療提供を行うことができました。また震災発生翌日から、全国各地から民医連に加盟する病院・診療所のスタッフが支援に入ったことも医療活動を支える大きな要因でした。また、震災発生4日目には坂総合病院の呼びかけで地域医師会、管内の病院長、保健所、自治体関係者、救急隊が集まり「緊急地域連絡会議」が持たれ、多くの会合を重ねてきました。

震災当時の坂総合病院の医療活動は、12日間トリアージ診療を実施、約5,000名を診察しました。また震災3日目(3月13日)から地域の避難所に対する医療支援も開始しており、一ヶ月で約4,300名を避難所で診察しています。震災13日目(3月23日)から部分的に通常診療を再開し、震災から一ヶ月間に約14,000名の外来診療を行いました。

会場
略
図

